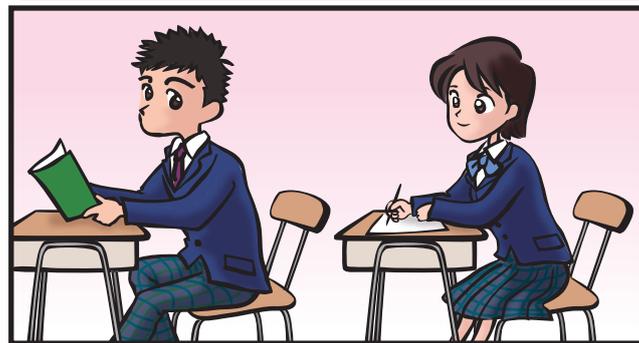


これってジェンダー平等ですか？

学校編 ？

ある学校でのシーンです。
ちょっとヘンだと思いませんか？



これってジェンダー平等ですか？

学校編 解答例



■女の子は地元に進学すべき？

地元の大学に行くか、都会の大学に行くかは性別に関係なく、学部や希望で決めたいですね。勿論経済的な事情も考慮する必要がありますが、女の子は地元で我慢しなさいと言うのはおかしい話です。



■性別と文系・理系は関係あるの？

進路選択に、性別は関係ありません。高校の先生や周りの大人たちは自分のジェンダーイメージに従ってアドバイスするかもしれませんが、女の子も男の子も、自らの意思で、それぞれの希望の進路を開拓していけるのです。大人たちも、ジェンダー意識から自由になって、応援してあげましょう。



■どうして、制服がちがうのかな

制服が男女で違う中学や高校は多いですが、昨今では、スカートやキュロットスカートやパンツを自由に選べる学校も出てきました。「性別違和」に悩む人の中には、制服がとても苦痛な人もいます。個人の幸福追求のために、考えていかなければならない問題です。

かつては、小学校の体操服が男女でまったく違いましたが、昨今では同様になってきています。



■校長先生は男性？

小学校の先生は女性が多いのに、管理職は男性が多いのは変ですね。子どもたちは、日々その情景を見ているわけですから、これは、女性のリーダー性の養成に影響する「隠れたカリキュラム」であると言わざるを得ません。女子児童へのロールモデルの提示という観点からも、問題でしょう。



■部活は男女別なの？

学校での部活動においては、男女別の部構成になっていたり、女子のみの部活動や男子のみの部活動が存在しています。女子差別撤廃条約の第十条の(g)において、「スポーツ及び体育に積極的に参加する同一の機会」が掲げられています。男子と女子のどちらかしか参加できない部があるということは、これに抵触する恐れがあると言えるでしょう。

これってジェンダー平等ですか？

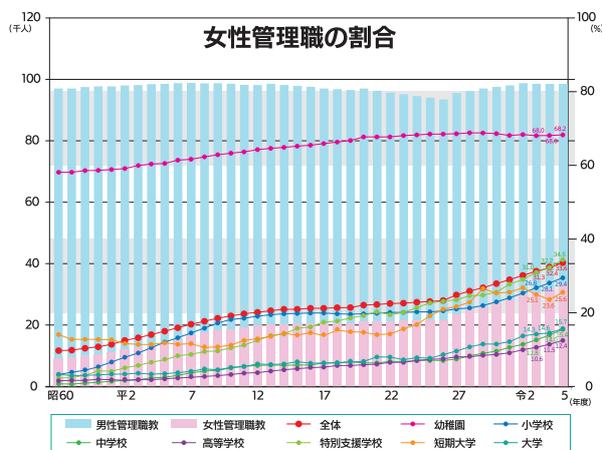
学校編 解説

関連する法令やデータから、さらに解説します。

高等教育における男女平等

2023年度の文部科学省学校基本調査によりますと、大学全体に占める女子学生の割合は44.6%ですが、学部では45.7%、大学院では32.8%で、大学院になると比率が下がっていることがわかります。また、男女別の専攻分野を見ると、理学・工学分野の女子学生の割合が低く、専攻分野による男女の偏りが見られます。国は、女性が様々な分野にチャレンジしていくことにより、多様な視点や発想が加わり、活力ある生き生きとした社会の実現が期待されているとして、女子生徒等に向けた取組を行っています。工業大学等では、女子特別推薦の対象学科を増やす等の取組を行っています。

教員の男女平等参画



(注) 管理職は、教員のうち校(園)長、教頭、学長、副学長の教である。

出典：文部科学省 令和5年度学校基本統計(学校基本調査の結果)より

文部科学省の学校基本調査によりますと、2023年度における女性教員の割合は、幼保連携認定型こども園94.7%、幼稚園93.4%、小学校62.6%、中学校44.6%、高等学校33.4%、大学27.2%で、教育段階が上がるにつれて、その割合は低くなっています。女性管理職の割合は全校種平均で33.6%です。教育内容のみならず、子どもたちは、日々の暮らしの中で多くのことを学んでいます。女子児童・生徒が、女性のリーダーというロールモデルを目にする機会が少ないということは、女子児童・生徒のライフデザインに与える影響が大きいのと思われます。

隠れたカリキュラム

女子差別撤廃条約を批准するにあたり、カリキュラムの平等化がなされ、技術・家庭科の共修は実現したものの、成文化されていない、いわゆる隠れたカリキュラムの存在が指摘されています。学校における慣習・慣行の中に不必要な男女の区別が存在し、それらが男女平等教育の妨げになっているというものです。前述の指導的な立場にある教員の男女バランスの悪さもさることながら、教員の「男だろ、女のくせに」などの何気ない一言が児童・生徒に与える影響は多大ですので、教員に対する男女平等参画の研修が必要です。

服装・持ち物の男女平等

体操服・ランドセル・制服の男女の色別についての見直しも議論されてきました。ランドセルについてはカラフルなものが増え、かつてのような男女の二分法は見られなくなりつつあります。体操服についても、女子生徒のブルマーは廃止傾向にあります。制服についても、女子の制服にキュロットスカートやズボンを選択することができる学校も増えてきました。また、男子生徒がスカートを選ぶことができる学校も出てきました。これは、女子の活躍のためというだけでなく、「性別違和」に悩む児童・生徒への配慮としても評価できます。しかしながら、制服廃止の動きは少なく、服装の自由に関しては、まだまだ多くの制約があるということでしょう。

性の多様性(SOGIE ソジー)を尊重する教育

SOGIE(Sexual Orientation 性的指向・Gender Identity 性自認・Gender Expression 性表現)の頭文字からできた言葉です。誰もが持つ性のあり方を総称する概念です。各地で、性の多様性を尊重する教育が始められています。すべてのひとがSOGIEを尊重され、尊厳ある生活を営む権利を持っています。(「にゃーごと考える 性の多様性ってなんだろう?」参照)

改訂：2024年4月

椋山女学園大学 教授 吉田あけみ

イーブルなごや (名古屋市男女平等参画推進センター・女性会館)